

2020年度法政大学国際日本学研究所

法政大学国際日本学研究所(HIJAS)は、以下に記す条件を満たす若手研究者から「国際日本学」をめぐる論文を募り、最優秀論文執筆者に研究奨励金を授与するとともに、論文をHIJASの論文誌『国際日本学』に掲載します。

1. 応募資格(a~cのいずれかに該当する者)
 - a. 国際日本学研究所学術研究員・客員学術研究員
 - b. 大学院博士後期課程在籍者及び修了後5年以内の者(所属は問わないが、他大在籍者は学生証コピー、修了者は履歴書を添付すること)。
 - c. その他、編集委員会が適当と認めた者(この資格で応募する者は、履歴書、投稿論文要旨を2020年11月6日(金)までに郵送し事前審査を受けること)。
2. 応募論文
 - a. テーマは「国際日本学」に関わるもので、未発表のものに限る。
 - b. 日本語で書かれたものに限る。
 - c. 字数は18,000字(40字×30行×15枚)程度とする。
 - d. 採用された場合には、400語程度の英文要旨を提出すること。

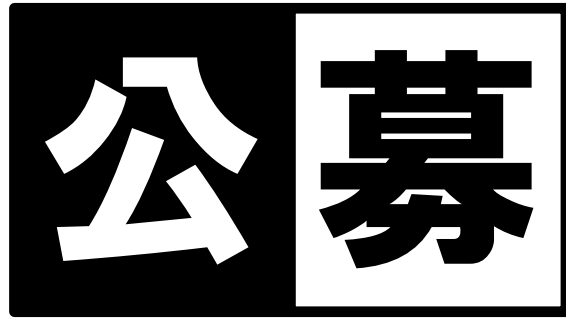
3. 採用件数
最大3件

4. 提出物

- a. 論文 プリントアウトしたもの、2部。
- b. 論文データ CD-R等に保存したもの。

*合否にかかわらず、提出物は返却しない。
*別途表紙に、論文題目・住所・氏名・所属・連絡先(電子メールアドレス、電話番号)を明記してください。

若手研究者研究論文



5. 提出先

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学国際日本学研究所
*郵送・宅配便での提出のみ受付
*Eメール添付ないし持参不可

6. 提出締切

2020年12月4日(金)当日消印有効

7. 掲載・その他

- a. 提出された原稿は編集委員会で審査する。
- b. 法政大学学術機関リポジトリ等で電子公開する予定のため、使用される図表・写真等については、電子公開の許諾も得ること。
- c. 掲載論文の執筆者には、研究奨励金30,000円を支給する。
- d. 掲載論文の執筆者には、本誌3冊及び抜刷50部を贈呈する。
- e. 掲載論文の著作権は本研究所に帰属するものとする。
- f. 本研究所は本誌掲載論文を電子化して公開する権利を有する。

8. 問い合わせ先

法政大学国際日本学研究所事務局
〒102-8160 千代田区富士見2-17-1
Tel:03-3264-9682
E-mail: nihon@hosei.ac.jp



法政大学
国際日本学研究所

採用された論文は、法政大学国際日本学研究所研究成果報告集『国際日本学』に掲載されています。

<過去6年間の掲載論文例>

◆2019年度(『国際日本学』第18号に掲載予定)

- ・藤原貞敏が唐からもたらした琵琶演奏伝承とその背景
根本 千聡

◆2018年度(『国際日本学』第17号掲載)

- ・『代表的日本人』について—日本とキリスト教との交わりという視点から—
佐藤 明
- ・アジア大陸の<帰還した夫>—『ゲセル』と『アルポミシュ』をめぐって
ハルミルザエヴァ・サイダ

◆2017年度(『国際日本学』第16号掲載)

- ・平岩弓枝『江戸の娘』における女性像
李 紹楠

◆2016年度(『国際日本学』第15号掲載)

- ・和辻哲郎における「信仰」と「さとり」:近代日本倫理学の一軌跡
犬塚 悠
- ・『太平記』における杜詩の受容の再検討
鄧 力

◆2015年度(『国際日本学』第14号掲載)

- ・《兼葭雅集図》にみる文人世界—18世紀の日韓文人が共有した空間—
鄭 敬珍
- ・黄表紙が描いた芋—滑稽イメージの利用
藤田 智子
- ・唐楽の研究「只拍子」「楽拍子」論考—古代から中世にかけて
根本 千聡

◆2014年度(『国際日本学』第13号掲載)

- ・野々村直太郎によるキリスト教理解—近代日本仏教者における宗教哲学の諸相—
清水 俊史

『国際日本学』は法政大学学術機関リポジトリにて電子版を公開中です。

https://hosei.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=5247&pn=1&count=20&order=7&lang=japanese&page_id=13&block_id=83